

IR活動

対話を重視したIR活動の充実

株主等との建設的な対話を重視し、経営トップを始めとした経営陣幹部を中心に様々な機会を通じて対話を持つように努めています。これらの対話を通じて、当社グループの経営戦略や経営計画にかかる理解を得る努力を行うとともに、株主等の声を傾聴し、また真摯に受け止め、資本提供者の目線からの経営分析や意見を吸収および反映し、三井化学グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上につなげます。

対話を通じたコミュニケーションの充実

経営トップ・事業キーマンとの直接対話

当社グループは、資本市場からのご意見を真摯に受け止め、皆様の関心が高い事柄に対して、経営トップ自らが説明し、直接ご質問に応えることを重視しています。アナリスト・投資家様向けの経営概況説明会や中計戦略説明会、国内外の投資家訪問、IRカンファレンスなどに経営陣が積極的に参加し、対話の機会を持っています。

また、経営陣やIR部門のみならず、各部門が一体となり、事業説明会や工場見学会の充実も図っています。2015年度は、成長に寄与する事業を中心に、事業説明会1回、海外を含む施設見学会5回を開催しました。事業のキーマンや現場担当者が具体的な取り組みを紹介し、直接対話していただけるイベントとして大変好評を得ています。

当社グループの各部門にとっても、通常接する顧客等とは異なる視点でご意見をいただける貴重な機会となっています。



IRツールの充実

株主・投資家の皆様との対話を補足するため、IR資料やIRサイトなどのIRツールの充実にも努めています。

個人投資家様にもご理解いただきやすいように、当社の概要を紹介する「三井化学ってどんな会社?」、中計進捗を説明する社長メッセージ動画の配信や、決算説明の解説資料の掲載も行っています。

また、ご理解を深めていただくために、本レポートの充実にも取り組んでいます。

「BEST CEO」および「BEST INVESTOR RELATIONS PROGRAM」の第1位に選出

1967年設立の世界的に著名な米国金融専門誌である Institutional Investor誌が5月31日に発表した「2016年 全日本エグゼクティブチーム」の化学業種において、全28社中、「BEST CEO」および「BEST INVESTOR RELATIONS PROGRAM」の第1位に選出されました。

本調査は Institutional Investor誌が2013年より開始し、日系企業25業種を対象に、世界の機関投資家・証券アナリスト570名の投票結果をもとに優れたIR活動を行う日本の上場企業を選出したものです。

引き続き、株主・投資家の皆様との対話機会の創出に努め、当社グループの事業活動を通じた社会課題解決への取り組みに対するご理解を深めてまいります。

